

古紙含有率の不適正表示問題について(第1報)

平素、EditNet プリンテックをご利用いただきましてありがとうございます。

既に新聞等の報道によりご承知のことと存じますが、日本製紙株式会社が承継前の日本郵政公社及び郵便事業株式会社に納品した年賀はがきの古紙含有率が仕様書の数値を下回っていたことが明らかになり、その後、年賀はがきを納入したメーカー5社のすべてが同様の問題があったことが報じられました。

さらに、日本製紙の社内調査では、同社製品の多くに古紙含有率の不適正表示があったことが同社の会見等により発表されたほか、王子製紙においても一部の銘柄で不適正表示があったことが発表されました。

弊社は、エコプロダクツを気軽にお客様にお選びいただけるように、製紙メーカー各社のカタログ、環境報告書等の公表資料をもとに、商品の環境への配慮状況をわかりやすく取りまとめ、「EditNet プリンテックご利用ガイド」などの資料にしてお客様にご案内してまいりました。お客様におかれましても、各社・各製品の環境への取り組みを評価の上、商品をお選びいただいていたことと存じますし、お客様の中には読者の皆様に向け「〇〇%の再生紙を使用しています」などの表示を行うことで、古紙利用製品の利用、ひいては環境への配慮が一層進むようにお力添えくださっている方も多数いらっしゃいます。

このような状況の中、製紙メーカーにおいて現在報じられているような不適正表示があったことは誠に遺憾であり、環境に配慮した印刷用紙としてご紹介しながら印刷物としてお客様にお納めしてきた事業者として、お客様には大変申しわけなく存じます。

弊社といたしましては、各社の社内調査の結果を待って今後の対応を検討してまいりますが、現時点で判明している事項及び検討している対応については、以下のとおりです。

今後とも各社から新しい情報が入り次第、改めてご報告を申し上げる予定です。

記

1. 弊社において取り扱っている印刷用紙について、不適正表示があったか否か
 - 調査中（別紙のとおり）。
2. 弊社の今後の対応
 - 環境への配慮については、弊社において真偽を検証する手段を持たないことから、今後も各社の公表資料をもとに、お客様にご案内するほかはないものと考えております。
 - 現在弊社に在庫している用紙、および、今後調査中の段階で紙問屋から納品される用紙については、サービスの維持の見地から、製紙メーカーの調査結果が明らかになるまでの間も、従来どおり取り扱います。
 - 不適正表示が判明した銘柄については、一時的に流通が止まるおそれがあります。弊社ではサービスの維持のため努力いたしますが、代替となる用紙について、ご利用ガイド等でのご案内と異なる古紙含有率の用紙になる場合があります。この場合でも、弊社では、メーカー等から情報が入手できしだいお客様に web

ページなどのご案内させていただくことで、お客様への情報の提供に努めてまいります。

- 現在弊社に在庫し、または既に流通におかれている用紙について、今後仮に不適正表示があったことが明らかになった場合の対応については、引き続き検討してまいります。現時点では、当該用紙を返品ないし交換した場合にメーカーによって廃棄処分（リサイクルされるとしても、結局は新たな環境負荷を生じさせることとなります）とされる可能性が高いこと、および代替となる用紙の手配がすぐにできない場合も想定されることから、今般の事情およびメーカーから発表された内容をお客様にご説明の上、従来どおり取り扱う方向で考えております。

以上

古紙含有率不適切表示問題に関する調査状況（2008年1月18日現在）

現在各社の社内調査等により判明している状況は以下のとおりです。他の銘柄等については、各社の発表を待ってお知らせします。

弊社銘柄名	製紙メーカー	銘柄	製造時期	乖離	内容
エコ上質紙 W	王子製紙	OK プリンス上質エコ G100	2007/10-2007/12	なし	王子製紙発表による。
	王子製紙	OK プリンス上質 EH	2007/10-2007-12	なし	王子製紙発表による。
「エコ上質紙 W」は一般名ですが、最近弊社が取り扱った実績があるのは、上記 2 銘柄です。					
再生マットコート	王子製紙	OK マットコートグリーン 100	2007/10-2007/12	なし	王子製紙発表による。
「再生マットコート」は一般名ですが、最近弊社が取り扱った実績があるのは、上記 1 銘柄です。					

弊社銘柄名・・・ご利用ガイド等でおお客様にご案内する際の銘柄名または商品名。 銘柄・・・製紙メーカーにおける銘柄名または商品名。

乖離・・・メーカー公称の古紙配合率と実績との乖離。